

平成28年度病害虫発生予察注意報第8号

平成28年11月1日
愛知 県

作物名：キャベツ
病害虫名：キャベツ黒腐病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 10月下旬の巡回調査(24ほ場)では、発病株率は7.6%(平成27年2.4%、前年12.2%)で過去10年と比較して前年に次いで2番目に高く、発生ほ場率は33.3%(平成27年13.0%、前年33.3%)で、前年と同じで最も高い。
- (2) 前年秋の発生量が多かったため、本ほにおける土壌中の病原菌量が多くなっていると考えられる。
- (3) 平成26年には10月下旬から11月下旬にかけて発生量が激増しており、今後、気温が高く適度に降雨がある場合には、更に発生量が増える可能性がある。

4 防除対策

- (1) 降雨が予想される場合は、予防のために銅剤等を散布する。すでに発病が認められたほ場では、治療効果のある抗生物質剤等を含む薬剤を散布する(表)。
- (2) 害虫の食害痕も病原菌の侵入口となるため害虫の防除も徹底する。
- (3) 中耕作業によって生じる傷口は病原菌の侵入口となるので、発生ほ場では中耕作業を控えるか、株際を避け、植物体をなるべく傷つけないよう注意する。やむを得ず中耕作業を行った場合は、速やかに薬剤を散布する。
- (4) 地下水位の高いほ場や排水不良のほ場では、排水対策を充分に行い、過湿状態にならないようにする。

表 キャベツ黒腐病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統
キノンドーフロアブル	800~1000倍	収穫14日前まで	3回以内	有機銅
アグレプト水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	抗生物質
バリダシン液剤5	800倍	収穫7日前まで	5回以内	抗生物質
カスミンボルドー ²⁾	1000倍	収穫7日前まで	4回以内 ¹⁾	抗生物質・無機銅
カセット水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内 ¹⁾	抗生物質・キノロン
Zボルドー ³⁾	500倍	—	—	無機銅
ベジキーパー水和剤	1000倍	発病前~発病初期	—	微生物農薬

1) カスミンボルドーとカセット水和剤は、同一の抗生物質を含むため、両剤を合わせた使用回数は4回まで。

2) 品種、作型により薬害を生ずるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤(クレフノンなど)を加用すること。

3) 結球期以降の散布は薬害を生じるおそれがあるので、結球初期までに散布する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471